

読書会からのおすすめ

毎週弊社で行っている「読書会」から
皆さんに読んでいただきたい1冊をご紹介します

福沢諭吉著・檜山昭彦現代語訳 解説
「学問のすゝめ」
三笠書房 2001年



営業第1部
杉山正晃

本書は明治維新直後、身分制度や政治・経済の急激な変化により世の中の全てが大混乱の中で出版される。有名な「天は人の上に人を作らず、人の下に人を作らず」から始まり「人は生まれながら平等であり身分上下の差別などない」「天は人間の活動・労働の結果を見て富を与える」「勉強しない人ほど損な人はいない、無知ほど怖いものはない」など。読者に「学問」の必要性を様々な角度から述べています。

一番感動した点は「貧富強弱は不幸の原因ではない。互いに競い合い勇気を奮い起こそう、幸不幸など、個人の努力の当然な結果である」日本再生の最大の切り札は「学問」である。それも抽象論は一切役に立たない「実学」にまさる人生勉強はないと、不確実な現代に生きる私たちの心にも訴えかけます。ぜひ一度は読んで欲しい「日本の名著」であると思えました。

このWEBサイトにはマネジメントに関する本の紹介がたくさんあります。
是非ご覧ください。

NATTARA
トレーニングスクール

このQRコードで
NATTARAスペシャル
サイトへ (NATTARA
READING JUNGLE)



労働・社会保険
インフォメーション



労働者への指導は「指導記録書」を残しましょう。

非違行為または非違行為までには該当しないが、問題となる労働者に対しては「指導記録書」を残すようにしましょう。

・業務命令に従わない ・協調性がなく反目的な態度が多い ・ハラスメントを行う
また、・仕事が明らかに遅すぎる ・何度注意してもミスを繰り返す 等々
これらが繰り返される場合、会社としても何らかのアクションが必要になってくると思います。
この場合、会社からの指導を行い、また労働者からの意見を良く聞き、その結果を「指導記録書」という形で保存しましょう。
・指導日 ・指導場所 ・指導者 ・指導対象者 ・指導事案 ・指導内容 ・指導対象者意見 等
後々、両者に齟齬が生じた場合や万が一会社に立証責任が生じた場合に重要な書類になってきます。

株式会社 札幌総合保険コンサル
〒004-0841 札幌市清田区清田1条1丁目4番30号
電話:011-883-1000 FAX:011-883-1010 (旧札幌総合保険事務所)
電話:011-883-5667 FAX:011-883-5749 (旧総合保険コンサル)
※お電話による受付時間 平日9:00~17:00
<https://s-sogohoken-consul.jp/>



札幌総合保険コンサル

第17号

2023.5

HAPPY

通信



いつも身近に。

私たちは、
プロの保険代理店です

HAPPY通信 第17号もくじ

保険TOPICS

ご存じですか

For Business
コラム

成長しよう

Information

札幌総合保険コンサル スペシャル情報

役立つ保険の新知识

保険 TOPICS ご存じ ですか

最近よく聞く保険に関する話題や事例。知っている、きっと役立つ保険の新知识をタイムリーにピックアップしてご紹介します。

クルマと自転車の 接触事故 に注意！



ながらスマホや傘をさしての運転は危険です！
自動車との接触の場合多額の賠償となる事もあります



近年、自転車側にも過失割合が問われます。賠償が必要な場合は「個人賠償責任保険」が必要です。

交差点進入時には左・右・もう一度左と安全確認を！
自転車は右から来るとは限りません！

自分の車の損害は車両保険の一般車両補償でお守りします。限定車両補償では、修理出来ません

プロの保険代理店として、私たちは、CS（ちゃんと説明する）がモットーです。保険に関わることで、わからないこと、不安に思うことなど、ご質問・ご相談ください。

For Business コラム 成長 しよう

活き活き企業を目指して

●今号のマネジメント力向上テーマ

「志」を 元気にする 座右の言葉を 持とう！



代表取締役社長
越前 賢一

くじ 挫けそうな時、含蓄のある言葉に出会うことで大変勇気づけられることがあります。私が読んだ本からさしこご紹介いたします。

「志を持つ」ということもよく言われますが、志のない人も多い。そして、小さな志はあるが、大きな志は持っていないこともあります。

「人生、今日が最高と思うこと」

(木下幹彌著『モノづくりの経営思想』より抜粋)

「失敗しないリーダーはいらない」

(堀田 力著『初めて部下を持つあなたへ』より抜粋)

「悲観は気持ち、楽観は意思」

(佐々木常夫著『40歳を過ぎたら、働き方を変えなさい』より抜粋)

「できることを一所懸命にやる」

(江口克彦著『上司の哲学』より抜粋)

「苦勞や困難のない人生はさみしい」

(松下幸之助 述『リーダーになる人を知っておいてほしいこと』より抜粋)

「つまらない仕事でも、天職と思うこと。そうすると人生は変わってくる」

(タル・ベン・シャハー著『ハーバードの人生を変える授業』より抜粋)

『志を育てる』(田久保善彦 著) という本に、志とは、一定期間、人生をかけてコミットできること、と書かれています。

「志」は、心が挫けそうになった時にも流されない、心のアンカー(錨)になってくれる大切なもの。そして自らの「志」は、折に触れここに立ち戻ること、初心を気づかせてくれるものでもあります。

特にリーダーには、「志」が重要です。自問自答して自身の「志」を磨き、高める努力が必要です。それはリーダーシップを発揮するにあたって、周囲を巻き込む「旗」にもなるからです。

リーダーは、しっかり「志」を持つとともに、「志」を元気にしてくれる座右の言葉をぜひ持っていたいものです。



当社代表の越前が
メイントレーナーで活躍しています！
ビジネス応援サイト
「NATTARAトレーニングスクール」を
覗いてみませんか！

概要サイト



情報更新サイト

